

2021年4月入社式 豊田社長あいさつ全文

皆さん、入社おめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスによる感染拡大の影響で、残念ながら、入社式をすることができませんでした。

今年もギリギリまで悩みましたが、オンラインという新しい形で実施することができましたので、昨年、お話できなかった入社2年目の皆さんに向けても、私の想いをお伝えしたいと思います。

これまでの入社式で、私が、必ずお話してきたことがあります。

それは、「とにかく3年間、ガムシャラに働いてほしい」ということと「クルマを好きになってほしい」ということです。

皆さんにも、同じ言葉を贈りたいと思います。

私が社長に就任してから入社された方は2万2千人。

全従業員の4人にひとりが私の言葉を胸に、トヨタでの人生をスタートされたことになります。

ただ、非常に残念なことに、その内、約1割の方が、すでにトヨタを退社されております。

私は社長として、この事実を重く受け止めております。

特に、若いうちに退社を決めた理由の一つに「デジタル化の遅れ」があります。

今のトヨタには、「情報を持っている人が偉い」という風潮があり、「情報が共有されず、一部の人だけのものになっている」という実態があります。

この現実を変えるためにも、「デジタルネイティブ」世代がリーダーとなり、この3年間で、「デジタル化」を一気に進め、世界のトップレベルまでもっていきます。

そうすることで、必要な人が、必要な時に、必要な情報を入手できるようにし、みんなが同じ方向を向いて、仕事に打ち込める環境をつくりたいと思っています。

そして、もうひとつ。

自動車産業 550 万人の仲間と共に取り組むテーマが
「カーボンニュートラル」です。

その実現には、イノベーションが不可欠です。

私は、「イノベーションは多様性の中から生まれる」と考えています。

本日、ご参加の皆さんは、これまでの経験もキャリアも
一人ひとり異なります。

多様な考え方や個性を大切にして、イノベーションの原動力に
なってほしいと思っております。

皆さんの中には、人生の節目をコロナ禍で迎えたことについて、
「運が悪い」「なぜ自分たちが」と思っている人もいるかもしれません。

でも、皆さんが積み上げてきた経験は、必ず役に立ちます。
過ごしてきた日々に、ぜひ自信を持ってほしいと思います。

これから職場に入れば、仕事の厳しさに悩み、苦しむこともあると
思います。

私自身がそうでした。

キャリア入社でトヨタに入り、理不尽な状況に苦しんだこともあれば、自分の力の無さを実感し、挫折したことも一度や二度ではありません。

それでも、何とかやってこれたのは、「トヨタが好きで、クルマが好きだ」という気持ちが消えなかったことと、つらいときこそ、寄り添ってくれた上司、同僚、友人がいたからです。

私は、挫折を経験するたびに、人は成長し、優しく、また強くなれるとも思っております。

新卒の皆さん、挫折を恐れなくてください。

キャリア入社 of 皆さん、他の会社での経験というトヨタと比べるものがあることを強みにしてください。

そして、皆さん、

困ったときに、頼りにできる友人や仲間を大切にしてください。

上司の方々は、職場の一人ひとりに寄り添い、その成長と活躍を自分自身の喜びにしてください。

そのためにも、業務を付与するときには十分な情報共有をして仕事の目的、納期、優先順位を明確にしてあげてください。

全員が「仕事の意味」を腹に落として働ける職場づくりをお願いしたいと思います。

今は変化が激し時代ですので、新入社員の皆さんはもちろん、上司や先輩もいろいろと迷う場面が出てくると思います。

そんなときは、ひとつの拠りどころとして、
静観ではなく、行動を
沈黙ではなく、発言を
説得ではなく、共感を
利己ではなく、利他を
優先してほしいと思います。

そして、失敗をした時には、絶対に隠したり、ごまかしたり、嘘をついたりしないこと。

立ち止まって、全員参加で、現地現物で、真因を突き止め、対策をとり、カイゼンをする。

これがトヨタの行動規範であり、創業期から受け継いできたDNAでもあります。

トヨタという会社は、「日本の未来のために、自動車産業をおこそう」という、豊田喜一郎や創業メンバーの「志」から生まれました。

創業メンバーは、苦勞の連続で、何もいいところを見ておりません。

いいところばかりを見させてもらっている現役の私たちが、「リスク」「リスク」と言って、何も挑戦をしなければ、先人にも、後進にも合わせる顔がありません。

「継承者こそ、挑戦者でなければならない。」

皆さんも、この想いを胸に刻んでほしいと思います。

最後に、少し視点を変えてみたいと思います。

皆さん、窓の外を見てください。

満開の桜が見えませんか。

私がいるのは、自然ゆたかな場所ですので、耳をすませば、

鳥のさえずりも聞こえます。

人間以外の生き物はコロナがあっても、これまで通りに暮らしています。

右往左往しているのは人間だけかもしれません。

「人間が主人公だ」と思っている地球という劇場の見方を変えてみるいい機会だと思います。

皆さんも、こうした視点で世の中を見てみるようにしてください。

未来のために、地球のために、私たちがやるべきことはたくさんあります。

これから一緒に頑張ってまいりましょう！

改めまして、入社おめでとうございます。